

柘植地域

# まちづくりだより

## 第242号

発行

柘植地域まちづくり協議会事務局

三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地

(柘植地区市民センター内)

〒五二九-1402

電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三

二〇一九(令和元)年九月一日(日)



柘植地域俳句コーナー  
奈良線に

電車待つ間の

十三夜

中西澄子

### 子らの歓声、柘植川に響く

教育文化部会

8月11日(日)、夏の恒例行事「第6回つげっこ夏祭り」を開催しました。



いかだは、発泡スチロール製です

弓矢は、よく飛び、大好評!

子ども31名、保護者26名、スタッフ19名の計76名が柘植川河川敷へ集結!

川遊び、昔の遊び(水でつぼう、紙でつぼう、弓矢など)、お昼にはカレーライスにスイカ割り、紙芝居などを通じて、楽しい夏のひと時を



過ごしました。新聞社やケーブルテレビも取材に訪れ、取り組みを紹介していただきました。

猛暑もなんのその、子どもたちは元気はつらつでしたが、スタッフはすっかり疲れてしまっ、...。なにはともあれ、安全第一。1時間繰り上げて終了することになりました。また来年もやりたいと思います。



### 観光振興のために

産業交流部会

8月18日(日)午後、部会の「観光看板係」が中心となって部会以外の方にも参加していただき(9名参加)、将来の柘植地域の観光振興を考えるための研修を開催しました。



市内ではたいへん貴重な存在となつてしまつた柘植歴史民俗資料館ならびに3偉人展示室で、担当の山中さんから説明を受けました。

その後、斎宮芝(中柘植)、芭蕉生誕宅跡(山出)、横光利一の跳ね釣瓶の庭(野村、写真)を訪れ、その現状を確認し、柘植地域が抱える観光の課題について研修しました。



## 調査結果を『自分ごと』へ

いがまち同研大会開かれる



8月17日(土)、第4回のいがまち同研大会が開催されました。

分科会が午後に分かれ、いがまち公民館では柘植地域人権啓発合同事業実行委員会の橋本浩信委員長が、2年前に20歳以上の柘植地域住民にとった意識調査結果を地域づくりにどう活かしていくかを提案しました(写真)。

一方、午前の全体会はやま文化センターで開かれました。

格差が拡大している社会変化やネット上の問題、また差別を支えている「あばこうとする意識」などを捉えつつ、「規制と救済」

を念頭に人権の

法整備を整えることが

急務である」と講師の赤井隆史さん(写真)が話されました。



## 地域公共交通についての検討を途切れさせないよう...

ないよう...

8月1日(月)午前、市民センターで、柘植地域の公共交通の将来について検討する場を引き継いでいくための会議を開きました。



まち協の城出会長、

柘植駅を核とする公共交通のあり方検討委員会の堀井委員長、伊賀支所の担当職員とともに、伊賀市地域公共交通活性化再生協議会地域部会委員の新旧各2名の委員(旧・柘植美智代さん、松山宗達さん、新・藤井明和さん、岡島茂男さん)が参加して引継ぎを行いました。

今後とも、地域の公共交通のあり方については、市とともに課題解決を図っていく必要があることを踏まえて、まち協としては、堀井委員長の下、新委員の2名(岡島さんは区長を代表して)

を核に柘植地域全体に意見を求めながら、将来の方向性を見いだしていくことを確認することができました。



## 地域商工業の変遷を概観し、将来の地域経済活動を考える

産業交流部会

8月23日(金)夜、市民センターで産業交流部会主催による住民研修会を開催しました。

講師の伊賀市商工会伊賀支部長の平田正彦さんから、柘植地域がもっとも活気づいてきた昭和30〜40年代の思い出をもとに話し合いをしました。



参加者みんなが、これまでの柘植地域の産業が持っていた潜在力を知るとともに、今後のまちづくりの着眼点は「草津線を活かしたまちづくりではないか」など商工会ならびに実務での経験豊富な観点から出る、平田さんのお話しに耳を傾けることができました。

### ☆☆☆事務局だより☆☆☆

▼8月22日(木)、柘植財産区臨時議会が市役所本庁で開かれ、議長に植木義信さん、副議長に岡島秀夫さんが選出されました。任期は、令和元年8月10日から令和5年8月9日ということで4年間です。(前号掲載の任期等に間違いがありました。お詫び申し上げます)▼各区で行う夏の恒例の行事もあつたことと思いますが、これからいつまで続くか続けるべきか、考えることは山積しています。(西田方計)